

1 単元名 Sunshine English Course3 Program7 What Is the Most Important Thing to You?

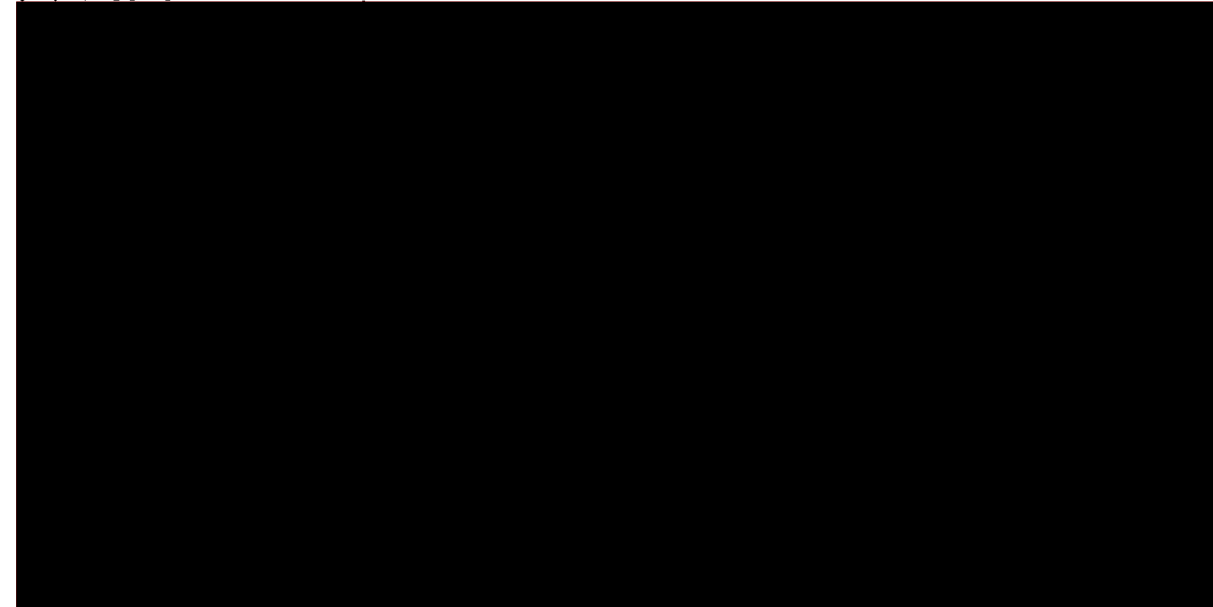
2 単元について

(1) 教材観

本単元では、本当に意味のある国際協力をめざして、世界中でボランティア活動を行って途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材育成への取り組みを続ける国際協力師、山本敏晴さんの活動について学ぶ。そのうち、特に山本さんが取り組んでいる「お絵描きイベント」を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を見ると同時に、自分の国に夢や希望を持って生きる子どもたちの描いた絵に込められた力強いメッセージを通して、本当の国際協力とは何か、また私たち1人ひとりに何ができるのかを考えさせることができる。同時に、〈関係代名詞 who (主格)〉、〈関係代名詞 which (主格)〉、〈関係代名詞 that (主格)〉の言語材料を学習する。

Program7 で〈関係代名詞 who (主格)〉、〈関係代名詞 which (主格)〉、〈関係代名詞 that (主格)〉などの言語材料を学ぶ。形や意味、用法を理解して、表現できるようにさせる。

(2) 生徒の実態



(3) 指導観

本単元では、〈関係代名詞 who (主格)〉、〈関係代名詞 which (主格)〉、〈関係代名詞 that (主格)〉などの言語材料を学ぶ、形や意味、用法を理解して、自分の考えを表現できるようにする。英語に対して苦手意識をもっている生徒もいるため、学習形態をグループで行い、生徒同士で教え、学び合える環境を作る。

【小中一貫教育の視点】

本時の流れや課題は小学校5年時から慣れ親しんでいるものであり、中学校でも1年2年そして3年でも継続して行っている。生徒が意欲的に活動できるようにするために、英語が苦手

な生徒も「本時の流れ」を見て何を学習しているのか分かるようにする。また、小学校で培った外国語の音声や基本的な表現を大切に、導入時には、英語を多く聴かせることで導入していきたい。その際、音声のみの導入だけではなく、小学校と同様に視覚で伝えるものにしていきたい。

3 「学力向上プラン」との関連

- ・復習問題を多く取り入れ、基礎・基本の定着を図る。(スプリングコンテストの実施・ワンミニテストの実施)
- routine work 後に、前時の復習、2年次の教科書復習を行う。
- ・本時の「MENU」と本時の「Main Dish」を掲示することでスムーズに授業を行い理解させる。
- 黒板の右に「MENU」の掲示、新しい文法に「Main Dish」
- ・グループ活動での授業
- 皆で作り上げる授業そして苦手な生徒をサポートする環境作り。
- ・生徒の興味、関心を引く文法導入
- ICTの積極的な活用。

4 「草加っ子の基礎・基本」との関連

学 力 <知能・技能 学ぶ意欲 思考力・判断力・表現力>

【英語】：基本的な単語や文章を読んだり書いたりすることができる

- ・授業の中で、2年の教科書を使い復習を行う。
- ・授業の中で、新出語句の練習をさせ、ミニテストを行う。
- ・リスニングの実施。
- ・グループ活動による授業。学ぶ意欲へとつなげる。

規律ある態度 <礼を正す 場を清める 時を守る>

【けじめのある生活】：正しい生活習慣を身につける

- 授業前後の休み時間から授業への切り換えや授業内での活動と聞く場面の切り換えをしっかりと行う。

【約束やきまりを守る】：○学習環境を整える○集団のきまりを守る○身なりを整える

- ・授業規律の5原則、学びの5か条の活用。
- ・教師の話をしっかり聞く。
- ・授業を聞く態度、服装を整える。

5 単元の見直し

- ・本単元では、〈関係代名詞 who (主格)〉、〈関係代名詞 which (主格)〉、〈関係代名詞 that (主格)〉などの言語材料を理解し、使うことができる。

【言語や文化の知識・理解】

- ・山本さんが伝えようとしていることについて読み取ったり、目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。

【外国語理解の能力】

- ・個人やペア、グループでの活動に意欲的に取り組み、間違えることを恐れず積極的に自分の感想や考えなどを話したり書いたりしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・〈関係代名詞 who (主格)〉、〈関係代名詞 which (主格)〉、〈関係代名詞 that (主格)〉などの文を使い、ものや人物について正しく伝えたり書いたりすることができる。【外国語表現の能力】

6 指導と評価の計画 (7時間)

○形成的評価 ◎総括的評価

時	◆ねらい ・学習活動	評価の観点				評価規準 (L聞くことS話すことR読むことW書くこと)	評価方法
		関	表	理	知		
1 本 時	<p>◆関係代名詞 who (主格) を用いた文の構造を理解する。</p> <p>◆積極的にグループで英文を伝え合っている。</p> <p>・関係代名詞 who (主格) を用いた文の構造を理解し、人について詳しく言うことができる。</p>	○				<p>○間違ふことを恐れず積極的に書いている。(W)</p> <p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。(S)</p>	<p>後日ノート確認</p> <p>行動観察</p>
2	<p>◆教科書 P.67 山本敏晴さんについての本文の内容を理解する。</p> <p>◆P.67 教科書本文の音読。(個人・シャドーイングなど)</p> <p>・ワークシートの問題に解答する。</p> <p>・関係代名詞 who (主格) を用いた文の復習。</p>			○		<p>○あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。(R)</p> <p>○正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。(R)</p>	<p>後日ペーパーテスト</p> <p>行動観察</p>
3	<p>◆関係代名詞 which (主格) を用いた文の構造を理解する。</p> <p>・関係代名詞 which (主格) を用いた文の構造を理解し、物について詳しく言うことができる。</p>	○				<p>○場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。(S)</p>	行動観察
4	<p>◆教科書 P.69 本文の内容を理解する。</p> <p>◆P.69 教科書本文の音読。(個人・シャドウイングなど)</p> <p>・ワークシートの問題に解答する。</p> <p>・関係代名詞 which (主格) を用いた文の復習。</p>			○		<p>○語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。(R)</p> <p>○正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。(R)</p>	<p>ワークシート分析</p> <p>行動観察</p>

5	◆関係代名詞 that (主格) を用いた文の構造を理解する。 ・関係代名詞 that (主格) を使った文を聞き取ることができる。		○	○語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。〈L〉	ワークシート分析
6	◆教科書 P.71 本文の内容、貧困問題について理解し問題を解く。 ◆内容的にまとまりのある文章を書くことができる。 ・関係代名詞 that (主格) の復習。	◎	○	○語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。〈R〉 ◎間違うことを恐れず積極的に書いている。〈W〉	ワークシート分析 ワークシート提出
7.	◆教科書 Program7 の内容を理解する。 ・Program7 確認テスト。		◎	◎文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。〈W〉	確認テストの提出

7 本時の指導

(1) 本時のねらい (目標)

- ◆関係代名詞 who (主格) を用いた文の構造を理解する。
- ◆積極的に友達と英文を伝え合い、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(2) 評価規準など

- (言語活動への取り組み) 間違うことを恐れず積極的に書いている。〈W〉
- (正確な発話) 語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。〈S〉

(3) 展開

過程	学習活動〈形態〉・学習内容	評価規準との関連	
			<input type="checkbox"/> 指導上の留意点 ◎総合的評価 <input type="checkbox"/> 形成的評価 ☆学力向上プランとの関わり ★「草加っ子の学びを支える授業の5か条」との関連 ◇支援
W-UP 20分	1 Greetings〈一斉〉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 5px 0;">先生の好きなタイプを英語で伝えよう。</div> 2 Sing a song〈一斉〉 ・英語の歌を歌う。		<input type="checkbox"/> 英語学習の雰囲気を作る。 ★本時の流れの掲示。 <input type="checkbox"/> 音楽を通して、英語の発音に触れる。

3 Program6 new words

Program6 単語プリントの Reading

- ・教師の後に続いて chorus reading《一斉》
(1回)
- ・単語読み《個人》
勝ち…1回読む
あいこ…2回読む
負け…3回読む Buzz reading

音と単語が結びついてからテストを行う。1回目は、5点。2回目は、10点。3回目は、15点。4回目は、20点。5回目は、25点で合格となる。

4 エイゴラボ

副教材で購入したワーク（エイゴラボ）の活用

- ・エイゴラボ Step3 の部分を英語特有のストレスリズム、発音に注意させる。
- ・読むときに、手を叩いて読む。
- ・教師の後に続いて、chorus reading (2回)《一斉》
- ・Repeat after leader (グループリーダーの後に続いてリピート)《グループ》

5 Conversations《グループ》

Topic カードの活用【1回 45秒×3回】

【ルール】

Topic カードについてなるべく話をする。
グループ内で会話をを行い、会話をしていない1人or 2人は、会話で話されている英語のメモを 1000tence marathon (ライティングの冊子) に書く。

6 Reading (text book)《英語グループ》

2年生の教科書の活用

【ルール】

2年生の教科書の Basic Dialog を活用し、2年次の復習を行う。Basic Dialog の reading 練習後、その Basic Dialog のその後のストーリーをグループで考え、発表する。

1000tence marathon の活用

◇英語グループに形態を変える。

□英語特有のストレスや発音を意識させる。

☆あいさつやあいづちの英語を帯活動に取り入れ、表現力を高める。

☆話されている英語のメモをとることで、表現力を高める。

★第3条「生徒が主体となり交流できる場を作る」

□英語リーダーが slow learner を手助けできる環境を作る。

展
開

25
分

7 Flash card《一斉》

- ・導入で使う名詞をフラッシュカードで触れる。
hair / mouth / nose / legs / shirts /
jacket / skirt / dress / jeans / shorts

- ・英語を見せながら、教師の後に続いて repeat
- ・日本語を見せながら、教師の後に続いて repeat
- ・英語を見せながら、生徒だけで読む。
- ・日本語を見せながら、生徒だけで読む。

8 Introduction of new grammar

- ・映像を見ながら関係代名詞（主格）を効果的に導入していく。(絵も活用)

T1: I like the girl who has long legs.

I like the girl who likes T-shirts.

I like the girl who likes shorts.

T2: I like the boy who has big hands.

I like the boy who likes border T-shirts.

I like the boy who is smiling.

《板書計画》

November 13th

Tuesday

sunny

絵

She likes the boy who has big hands.

絵

He likes the girl who likes T-shirts.

先生たちの好きなタイプを英語で伝えよう。

MENU

- 1 Greetings
- 2 Sing a song
- 3 Pro7単語
- 4 英語ラボ
- 5 会話
- 6 2年時復習
- 7 Main Dish
- 8 Writing

9 Activity《グループ》

Mr. Sakuma likes the girl who has long hair.

【ルール】

1人がカードを取り、残りのメンバーが英文を出していく。

(例) Mr. Sakuma likes the girl who has long hair.

グループでできるだけ多く英文をあげる

答えにあれば、1ptもらえる。

(表) 正
確な発
話

○語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。(S)

・B 規準に達した生徒への手立ては、多くの種類の英文を言わせる。

・B 規準に達していない生徒への手立ては、英語リーダーの手助けを借りる。

★第2条「生徒が自分で考える時間を設ける」

☆教え合いや学び合い等ができるよう学習形態の工夫。

第1条「学習の目標を明らかにする」

☆ICTの効果的な活用

☆写真などを多く取り入れ興味・関心を高める。

	<p>10 Writing《一斉》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードを1枚選び、そのカードについて1文英文、自分の好きなタイプについて1文英文を書く。 ・グループリーダーが教師のチェックを受け、リーダーがメンバーのチェックを行う。 	<p>(関) 言語活動への取り組み</p>	<p>○間違ふことを恐れず積極的に書いている。(W)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B 規準に達した生徒への手立ては、2文より多くの文を書かせる。 ・B 規準に達していない生徒への手立ては、グループでの英語リーダーの活用。 <p>★第4条「学んだことを活用する場を設ける」</p> <p>□分からなければ、英語リーダーが手助けを行う。</p> <p>☆教え合いや学び合い等ができるよう学習形態の工夫。</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>11 まとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本時のまとめ (2) 自己評価カード・グループ評価カードの記入 (3) 宿題の配布 (ALT チェック後、Reading 教材として活用) (4) greetings 		<p>★第5条「学習のまとめと振り返りの時間を設ける」</p>

(4) 板書計画
展開中に表記

Program 6 単語テスト

Class No. Name

単語	品詞	意味	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
1 while	名詞	～する間に					No.5
2 right now		ちょうど今					
3 interested		興味がある					
4 be interested in		～に興味がある					
5 drawn	動詞	「書く」の過去分詞形					
6 cup	名詞	カップ					
7 both	代名詞	両方の					
8 both A and B		AとBの両方					
9 carry	動詞	運ぶ					
10 scene	名詞	光景、風景					
11 adult	名詞	大人					
12 stage	名詞	ステージ					
13 woman	名詞	女性					
14 women	名詞	「女性」の複数形					
15 man	名詞	男性					
16 men	名詞	「男性」の複数形					
17 in front of		～の前					
18 worn	動詞	「使っている」の過去分詞形					
19 drum	名詞	太鼓					
20 cloth	名詞	布					
21 wrap	動詞	包む					
22 sauce	名詞	ソース					
23 coat	名詞	コート					
24 frog	名詞	カエル					
25 celebrate	動詞	祝う					
			/5	/10	/15	/20	/25

